

資料紹介・波照間の古墓出土の陶磁器

瑞慶山 昇・津波古聰

復帰前年度の1971年、検察庁から陶磁器類が494点ほど当館に移管された。これは復帰前に与那国・波照間等の古墓から盗掘されたものである。(以下、与那国から盗掘された陶磁器類は、与那国の古墓出土、波照間から盗掘された陶磁器類は、波照間の古墓出土と記す) これら陶磁器類は、生産地や製作年代だけみてもかなり範囲が広く、一地域にこのような陶磁器類が集まった事自体おもしろい現象である。そこで今回波照間の総合調査が平成8年度、9年度と実施されたのを機会に波照間の古墓から出土した資料に限定して紹介してみたい。

波照間の古墓は、島の北西に集中して存在し、おおむね北か西方の海に向いている。墓の構造はほぼ同一で、琉球石灰岩や珊瑚を積み上げ、上部に大きなテーブル珊瑚を数枚重ね、蓋としている。古墓の名称には、大きいとか偉大を表す「プウ」、女性を示す「パ」の言葉がつくが、埋葬されている人物は、おおかた男性のようであった⁽⁴⁾。

墓の周辺の石積みの上には、陶磁器の破片などが点在しており、墓荒らしの痕跡を示すものという。破片は、渡名喜瓶、香炉、碗などがあり、なかには当地で製作されたと見られる粗卒な陶器もあった。この陶器は波照間で戦前操業されていた瓦と一緒に製作されたものと思われる。また、骨壺に用いられたパナリ焼壺の破片が、かなり多く確認された。

この波照間の古墓出土の陶磁器類は、文末に一覧としてすべて掲載し、形態の種類別に分け、製作地と製作年代はおおざっぱではあるが、分けしてみた。なお、与那国の古墓出土の陶磁器類のうち、灰釉碗に限っては、池田栄史・津波古聰「灰釉碗の話」(『沖縄県立博物館紀要』第17号 1991)で、池田氏が紹介しているので、参照していただきたい。

当館に移管された波照間出土の陶磁器類は、総数241点になり、その内訳は表1のとおりである。発見場所の性格から酒器を中心に葬祭に関する陶磁器類が多いのは当然であるが、甕瓶や土鍋なども各1点ずつ含まれている。ちなみに与那国の古墓出土の総点数は253点である。徳利や渡名喜瓶、瓶子など対で用いる酒器がその大半をしめ、小さな油壺がそれに次ぎ多い。

波照間で出土した陶磁器類は、検察庁の記録ではすべて古墓からの出土ということから葬祭、特に副葬品に関係するものといえるであろう。パナリ焼壺は、骨壺として使用され、副葬品には、例えば、油壺(フチュクルビン)と徳利などは、棺及び墓に入れるようで、確かにそのような容器も含まれている。文献などからみると八重山の副葬品は、ハンカチ、

扇子（男）、うちわ（女）、金欄で作った煙草入れがある。また、菓子や煙草、手拭いや各種の種を一つかみと針を5・6本を入れる。波照間での副葬品は、煙草入、お茶、針（10本以上）、草履、下駄、笠があった。その他フチュクルビンも含み、死者が生前愛用したものも入れたようである。これら副葬品は洗骨のさい取り除かれ、使われないように割られたという。当館に収蔵されたものも器のどこかが破損しており、完全なもの少ない。したがって、これら陶磁器は、副葬品と思われる。しかし、墓が特定できないため、すべて副葬品かどうかは不明である。

	品名	波照間	与那国
1	徳利 (うち、古伊万里・12)	60	46
2	油壺(髪油の壺) (うち、古万里・3)	43	54
3	渡名喜瓶	27	14
4	碗	26	46
5	対瓶	21	5
6	瓶子	16	4
7	さかづき	10	34
8	からから	9	2
9	パナリ焼	9	2
10	急須	5	6
11	香炉	3	1
12	油壺	3	0
13	壺	2	6
14	花生け	2	8
15	しびん	1	0
16	土鍋	1	0
17	嘉瓶	1	10
18	皿	1	12
19	あんびん	1	0
20	火取	0	2
21	燈明	0	1
	合計	214	253

さて、241点もの陶磁器を区分けすると種類別では、徳利・渡名喜瓶・対瓶などの徳利型が大半で、ついで髪油を入れる油壺が多い。製作地は、壺屋が主で、伊万里系が数点散見される。また、なかには八重山の陶器らしきものも見受けられ、検討を要する。ちなみに同様に移管された与那国の陶磁器類の油壺を見ると徳利のような形をして

ているものが多く、大半が薩摩焼である。数量的には253点のうち54点になり、一番に多い。

灰釉碗は、素朴な鉄絵を施し、高台部分が無釉にしたものである。与那国の灰釉碗・46点にくらべ26点とすくないが、湧田及び壺屋焼と思われるもの、安南系の灰釉碗が見られる。

以上、波照間の陶磁器の生産地をみると県内及び県外・国外のものがあり、製作年では17世紀ころから近代までに区分けされると推察される。これら陶磁器類が波照間及び与那国に存在したことは、その生産地と絡めてみると直接ではないにせよ、東南アジアと沖縄・日本の流通品が沖縄各地に散らばっている現象が見られる。

移管されたこれら陶磁器類は、波照間のみならず、与那国等も合わせて検討すると葬祭に関する器の流行、沖縄の焼物の多様さに加えて、沖縄が日本と東南アジアの流通経路の要的要素が再認識させられる資料と思われる。

この資料は、十分な現地調査を踏まえたものではなく、資料紹介にとどめたのもそのた

めである。不十分な報告となったが、これら資料が今後の調査研究の一助になれば幸いである。

なお、波照間での瓦製作は、戦前から昭和30年前半までで、その後は次第に姿を消し、現在では窯後さえ残されていない。陶土は、島の黄土を使用し、瓦の他に水瓶、味噌壺、徳利等の雑器を製作していた。これら陶器は、瓦とともに



貝敷の窯にあったセメント敷の土踏み場所に焼成したらしく、釉薬は施していない。瓦は注文によって造り、発注者も窯元と一緒に作業したようである。

瓦窯は、「富底」の窯、「貝敷」（ケーサー）の窯と名称が不明の三ヶ所にあり、操業しなくなった時期もほぼおなじく昭和30年頃という。これら窯跡は、貝敷の窯にあったセメント敷の土踏みの場所がわずか残されている程度で、その姿は、全く見られない。

注 墓にまつわる伝承

1・「アラマリヌパーバカ」

伝承によると昔、島にアパーミ（油の雨）が降り、波照間の住民は男女の兄弟を除き、ほとんど全滅した。二人はミシクー（海岸）の岩影に身をかくし難を逃れた。二人はその後夫婦となり、最初にトカゲを産み、次にミノカサが産まれた。その後海へ行きリーフとリーフの間を飛び超えたとき、カタカシ（魚）を産み落とした。最後に一人の娘を産んだ。それがアラマリヌパーであり、波照間の人達の先祖となった。アラマリとは「新しい」または「最初」という意味で、パーとは女性を示す。

2・「ピタブゥバメー」

ピタブゥバメーは、一夜の恋のためにたった一人で船を漕ぎだし、他の島の女性のもとへかよった。その証拠に波照間にはない色の花を持ち帰ったと言う。墓の周辺には今でもその花が咲くと言う。二つの墓が並んであり、どの墓がピタブゥバメーの墓が確認できなかった。

3・「ヤマダブゥバメー」

ヤマダブゥバメーは、唐旅に船出する前、石に牛をつないで出かけた。長い旅から帰るとその牛はまだ生きていたという。現在、牛を繋いだ石は、港の近くに奉られている。

参考文献：

・池田栄史・津波古聰「灰釉碗の話」

『沖縄県立博物館紀要』第17号沖縄県立博物館 1991年

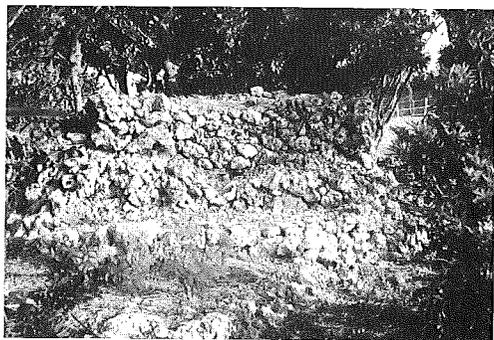
・真栄田義見・三隅治雄・源武雄編『沖縄文化辞典』東京堂出版 5版 1982年

・文化庁文化財保護部『日本民俗資料辞典』第一法規 4版 1970年

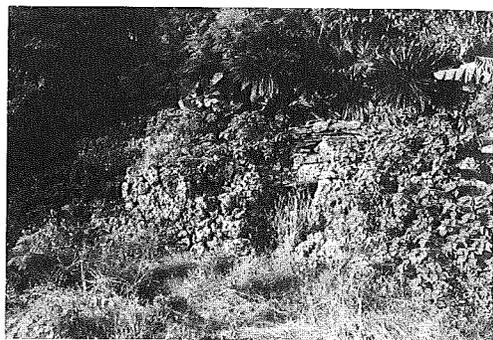
・上江洲均『沖縄の暮らしと民具』慶友社 1983年

・宮城文『八重山生活誌』宮城文 1972年

・加屋本正一『波照間島』加屋本正一 1977年



①②ピタプッパメー



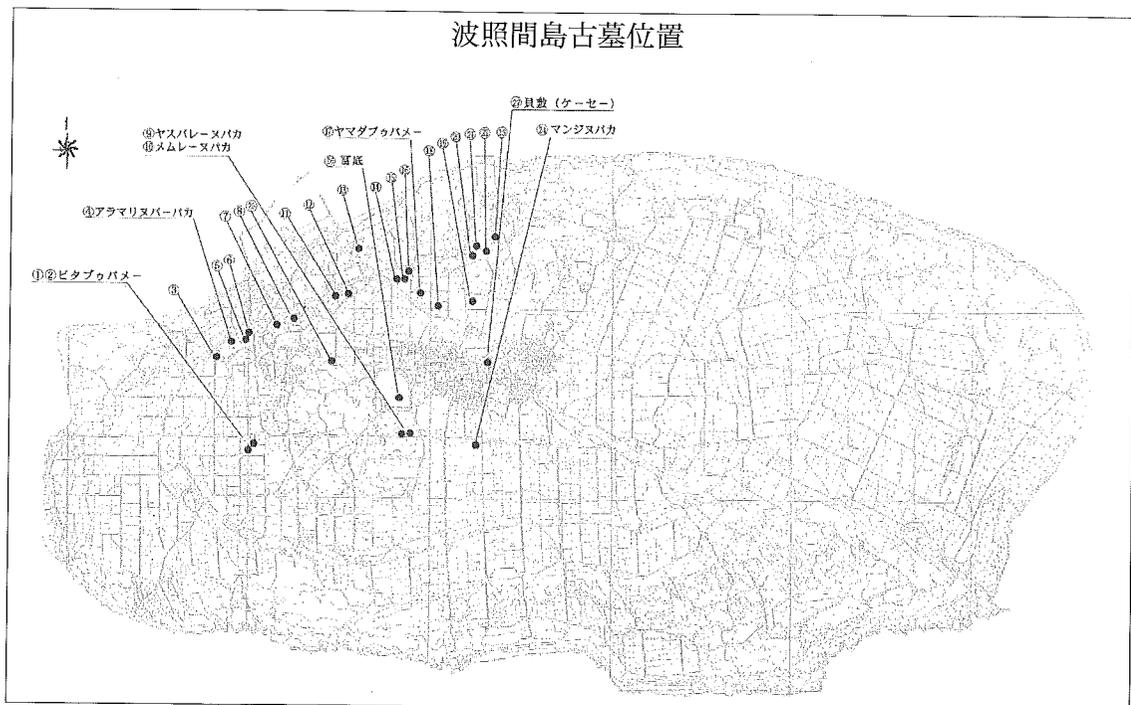
⑨ヤスパレーヌパカ、ないしは
⑩メムレーヌパカ

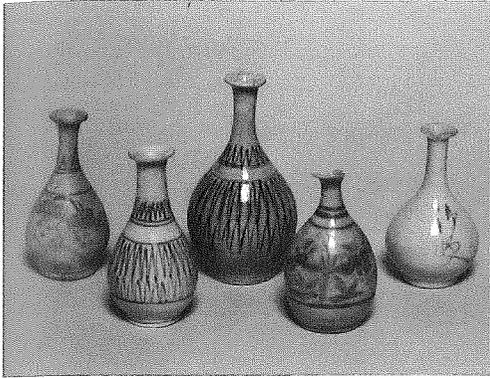


④アラマリヌパーパカ



墓の名前不明

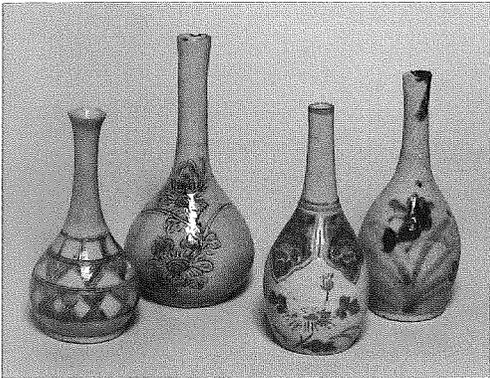




県外産の徳利



灰釉碗—湧田焼か



壺屋焼 徳利



壺屋焼 からから



急須及土瓶—上段左は八重山か—



壺屋焼 瓶子



油壺—上段2口は伊万里系、その他は沖縄産

波照間の古墓出土の陶磁器一覽

No.	名 称	数量	法 量	No.	名 称	数量	法 量
1	飴釉対瓶	1	15.0×2.7	41	古伊万里網目染付徳利	1	17.2×3.4
2	伊万里染付徳利	1	19.3×6.0	42	飴釉流渡名喜瓶	1	14.5×5.2
3	鉄砂釉徳利	1	20.0	43	飴釉徳利	1	18.5×3.3
4	飴釉徳利	1	21.0×3.8	44	無地対瓶	1	14.0×2.3
5	黒釉渡名喜瓶	1	18.0×3.4	45	飴釉流渡名喜瓶	1	14.5×2.9
6	「御神前」銘入白磁徳利	2	13.0×2.0	46	飴釉輪模様対瓶	1	17.3×2.7
7	黒釉流渡名喜瓶	1	11.0×6.2	47	飴釉渡名喜瓶	1	20.0×3.9
8	飴釉流渡名喜瓶	1	15.5×3.2	48	磁器赤絵徳利	1	12.5
9	黒釉流渡名喜瓶	1	13.0×3.3	49	黒釉草葉文渡名喜瓶	1	18.5×3.5
10	赤絵徳利	1	15.0×5.0	50	無地徳利	1	19.4×4.8
11	焼締のこぎり歯底対瓶	1	13.0	51	飴釉渡名喜瓶	1	18.5
12	飴釉流渡名喜瓶	1	14.3×3.2	52	飴釉徳利	1	15.2×3.2
13	飴釉渡名喜瓶	1	12.0×2.7	53	飴釉輪模様対瓶	1	19.7×2.4
14	灰釉徳利	1	21.0×3.1	54	飴釉輪模様対瓶	1	17.0×2.4
15	黒釉徳利	1	15.8	55	飴釉徳利	1	21.0×3.3
16	黒釉耳付花生	1	15.7	56	灰釉瓶子	1	14.5×3.9
17	黒釉瓢形徳利	1	18.7×3.3	57	飴釉徳利	1	17.7×2.8
18	なまこ地飴釉流徳利	1	15.0×5.4	58	黒釉徳利	1	20.5×3.7
19	飴釉瓶子	1	17.0×3.8	59	灰釉瓶子	1	18.5×5.2
20	古伊万里網目染付徳利	1	19.0	60	飴釉徳利	1	18.5×2.8
21	コバルト釉輪模様瓶子	1	15.2×4.9	61	染付徳利	1	18.5×3.1
22	コバルト釉輪模様瓶子	2	15.3×2.8	62	赤絵輪模様徳利	1	18.0×1.8
23	緑釉徳利	1	17.0×3.6	63	緑釉徳利	1	15.7×3.3
24	黒釉渡名喜瓶	1	19.0×4.1	64	菊花染付瓶子	1	19.4×5.2
25	飴釉瓢形徳利	1	17.0×3.4	65	飴釉対瓶	1	14.5×2.4
26	緑釉瓢形徳利	1	14.5×2.5	66	黒釉対瓶	1	20.0×2.3
27	ゴス染付徳利	1	18.8×2.5	67	菖蒲文染付徳利	1	21.0×2.3
28	飴釉対瓶	1	16.0×4.4	68	古伊万里網目染付徳利	1	12.5
29	飴釉流対瓶	1	18.0×4.2	69	飴釉徳利	1	19.8×2.8
30	古伊万里網目染付徳利	1	18.5×3.9	70	古伊万里唐草文染付徳利	1	16.8×4.0
31	飴釉瓶子	1	22.5×5.1	71	緑釉徳利	2	15.0×3.3
32	古伊万里唐草染付徳利	1	14.0×3.1	72	黒釉渡名喜瓶	1	18.0×3.5
33	飴釉瓶子	1	20.0×4.8	73	緑釉徳利	1	15.3×3.4
34	無地徳利	1	20.0×2.8	74	飴釉徳利	1	17.0×5.0
35	梅釘彫染付瓶子	1	18.5×5.3	75	飴釉瓶子	1	19.0
36	飴釉飛ばし瓶子	1	17.5×5.3	76	飴釉徳利	1	15.0×3.0
37	無地徳利	1	20.5×3.1	77	菖蒲文染付対瓶	1	20.5×2.4
38	釘彫雲竜文花生	1	32.0×11.5	78	飴釉徳利	1	15.3×3.3
39	菖蒲文染付対瓶	1	21.0×3.2	79	黒釉徳利	1	17.8×3.2
40	飴釉徳利	1	14.2×4.6	80	飴釉流対瓶	1	14.8×2.0

No.	名 称	数量	法 量	No.	名 称	数量	法 量
81	鉛釉釘彫德利	1	19.8×2.5	122	黒釉渡名喜瓶	1	20.3×3.3
82	古伊万里染付德利	1	14.5×4.3	123	鉛釉流飛匏渡名喜瓶	1	14.0
83	無地德利	1	19.3×2.2	124	鉛釉流瓶子	1	20.0×5.3
84	鉛釉輪模様対瓶	1	18.6×2.4	125	鉛釉流瓢形德利	1	18.0
85	無地德利	1	21.0×2.7	126	鉄砂釉渡名喜瓶	1	19.0
86	緑釉飛匏対瓶	1	18.3×2.5	127	鉛釉渡名喜瓶	1	20.0
87	緑釉德利	1	19.0×2.9	128	古伊万里染付德利	1	14.5×4.3
88	焼締德利	1	18.0×3.2	129	鉛釉流渡名喜瓶	1	14.2×2.9
89	黒釉油壺	1	7.0×3.1	130	クワデーサー釉德利	1	15.0×3.6
90	鉛釉油壺	1	6.9×2.9	131	鉛釉流渡名喜瓶	1	14.7×3.6
91	鉛釉油壺	1	11.5×4.9	132	鉄砂釉油壺	1	9.4×4.5
92	鉛釉油壺	1	7.5×3.5	133	古伊万里「御酒入」銘入染付德利	1	13.4×4.3
93	古伊万里草花染付油壺	1	9.7×2.7	134	クワデーサー釉瓢形德利	1	13.5×3.4
94	黒釉油壺	1	8.5×4.7	135	鉛釉流渡名喜瓶	1	14.5×3.1
95	無地油壺	1	5.5×2.2	136	鉛釉輪模様対瓶	1	19.5×2.6
96	鉛釉油壺	1	8.9×4.4	137	鉛釉草葉陰刻文渡名喜瓶	1	16.5
97	鉛釉油壺	1	9.3×4.5	138	なまこ釉に鉛釉流対瓶	1	15.5
98	鉄砂釉油壺	1	12.7×5.3	139	鉛釉流瓶子	1	20.3×4.7
99	古伊万里草花染付油壺	1	11.4	140	無地对瓶	1	17.0×2.8
100	鉛釉流油壺	1	10.0×5.0	141	黒釉渡名喜瓶	1	18.0
101	灰釉油壺	1	8.5×4.4	142	鉛釉三島手渡名喜瓶	1	19.0
102	鉛釉油壺	1	10.4×5.5	143	鉛釉德利	1	17.0×3.4
103	灰釉油壺	1	5.2×1.8	144	古伊万里つる草染付德利	1	24.0×5.5
104	鉄砂釉油壺	1	9.0×5.0	145	黒釉嘉瓶	1	28.8×11.5
105	鉛釉油壺	1	8.5	146	焼締瓢形德利	1	16.0×2.1
106	鉛釉流油壺	1	8.5×4.2	147	鉛釉渡名喜瓶	1	17.0
107	鉛釉油壺	1	6.2×3.6	148	鉄砂釉油壺	1	10.0
108	鉛釉からから	1	10.0×4.1	149	黒釉油壺	1	11.5
109	灰釉からから	1	9.4×3.5	150	鉛釉油壺	1	5.5×3.3
110	鉛・コバルト釉染付からから	1	8.9×4.5	151	鉛釉油壺	1	7.4×3.6
111	染付碗	1	5.8×14.0	152	鉄砂流油壺	1	6.8×3.6
112	染付碗	1	5.3×12.4	153	鉛釉油壺	1	8.2×4.5
113	鶴丸文染付碗	1	5.0×11.7	154	無地油壺	1	6.5×3.4
114	磁器染付碗	1	4.8×11.2	155	鉛釉油壺	1	6.0×3.4
115	古伊万里梅染付碗	1	4.7×11.8	156	灰釉油壺	1	5.0×1.2
116	扇模様染付碗	1	6.5×11.3	157	鉛釉油壺	1	6.4×3.8
117	青磁さかづき	1	2.7×2.8	158	灰釉油壺	1	4.5×1.7
118	焼締さかづき	1	1.5×5.3	159	鉛釉油壺	1	8.8×4.9
119	古伊万里草花文染付德利	1	13.7	160	焼締油壺	1	6.7×4.8
120	鉛釉渡名喜瓶	1	19.5	161	黒釉油壺	1	11.4×5.4
121	鉛釉飛匏德利	1	19.5×3.2	162	鉄砂流油壺	1	14.0×7.1

No.	名 称	数量	法 量	No.	名 称	数量	法 量
163	黒釉流油壺	1	5.8×5.8	204	ばなり焼壺	1	21.5×16.0
164	古伊万里草花染付油壺	1	11.6×3.6	205	ばなり焼鉢	1	11.5×18.5
165	鉛釉油壺	1	13.2×6.6	206	ばなり焼壺	1	15.2×18.6
166	鉛釉流徳利	1	20.4×5.7	207	ばなり焼壺	1	16.8×12.0
167	黒釉油壺	1	5.6×2.1	208	焼締土鍋	1	7.2×14.0
168	黒釉油壺	1	9.7	209	焼締しびん	1	17.0
169	無地油壺	1	8.5	210	焼締香炉	1	6.7
170	なまこ釉からから	1	7.5	211	焼締香炉	1	8.0×10.2
171	鉛釉からから	1	11.5	212	焼締香炉	1	6.2×10.0
172	鉛釉釘彫からから	1	9.5	213	鉄砂釉さかづき	1	2.1×3.8
173	鉄砂釉からから	1	10.2	214	磁器染付さかづき	1	3.3×4.7
174	鉛釉からから	1	10.2	215	磁器染付さかづき	1	2.8×5.4
175	なまこ釉からから	1	7.6×3.1	216	磁器染付さかづき	1	2.6×3.9
176	染付碗	1	5.2×13.0	217	磁器さかづき	1	2.2×4.2
177	灰釉碗	1	6.0×13.0	218	磁器さかづき	1	2.0×4.1
178	灰釉碗	1	5.7×6.0	219	白薩摩さかづき	1	3.1×4.4
179	灰釉碗	1	6.0×13.1	220	磁器染付皿	1	3.2×15.5
180	磁器赤絵碗	1	5.6×13.7	221	無地面取茶碗	1	4.5×8.6
181	磁器コバルト染付碗	1	5.4×11.1	222	黒釉油壺	1	21.0×11.9
182	灰釉碗	1	5.3×14.3	223	灰釉瓶子	1	15.5×5.3
183	灰釉碗	1	5.6×13.4	224	焼締急須	1	13.2×8.9
184	灰釉碗	1	5.3×13.7	225	鉛釉渡名喜瓶	1	18.5×6.6
185	灰釉碗	1	6.3×13.6	226	鉛釉輪模様油壺	1	9.3×4.4
186	灰釉碗	1	6.1×13.2	227	黒釉対瓶	1	15.0
187	灰釉碗	1	6.2×13.5	228	鉄砂釉瓶子	1	15.5
188	磁器染付碗	1	5.6×12.8	229	黒釉対瓶	1	16.0
189	灰釉碗	1	5.2×13.4	230	灰釉対瓶	1	13.0
190	灰釉茶碗	1	5.0×9.4	231	緑釉壺	1	14.5×7.0
191	灰釉碗	1	6.0×13.6	232	焼締壺	1	16.4×10.5
192	磁器染付碗	1	5.8×10.4	233	黒釉油壺	1	18.4×10.7
193	灰釉碗	1	6.0×14.3	234	鉛釉油壺	1	28.0×14.0
194	ばなり焼蓋	1	7.0	235	黒釉あんびん	1	16.0
195	ゴスに鉛釉釘彫急須	1	7.5	236	黒釉流渡名喜瓶	1	15.1×3.2
196	焼締急須	1	8.7	237	黒釉油壺	1	7.0×3.3
197	黒釉急須	1	7.0	238	灰釉碗	1	5.7×14.0
198	焼締急須	1	8.2				
199	磁器ゴスさかづき	1	2.0×4.0				
200	ばなり焼壺	1	24.6×17.0				
201	ばなり焼壺	1	28.0×20.8				
202	ばなり焼壺	1	21.7×16.0				
203	ばなり焼壺	1	23.8×18.5				

凡例

1. 法量は高さ、口径の順である。ただし、測定が不可のものは空白とした。
2. 一覧表は、登録順にした。
3. 名称は登録時のものである。
4. 番号は登録番号ではなく、通し番号である。